

# 保健所実習

## 実習目的

- 地区 (地域社会) に対する総合的な公衆衛生活動の理解
- 1) 地区 (地域社会) に於ける保健問題の認識
  - 2) 保健所の機軸及び機能についての理解
  - 3) 地区民に対する公衆衛生看護活動の理解
- クリニック (健康相談)  
 家庭訪問  
 地区組織活動及び衛生教育

## 実習期日及び実習人員

実習期日 昭和30年11月 ~ 昭和31年4月  
 1グループ 2週間 (但し1週2日 火曜木曜のみ)  
 実習人員 1グループ 2~3名 (学生名簿は別紙参照)

## 実習内容

- 1) 保健所活動の概況 /日  
 所内見学 (各担当係員による具体的な業務内容の説明)
- 2) クリニック (健康相談) 2日  
 種類 小児 母性 産科 受胎調節 精神衛生 肢体不自由児  
 結核 (家族検診、集検)  
 イ) クリニック (健康相談) の準備  
 ロ) 予診 (病厂及び家族厂) のとり方

- ハ) 測定
- ニ) 診察の介助
- ホ) 相談者の面接 (事後指導)
- ヘ) 衛生教育 (グループワーク)
- ト) クリニック (健康相談) の整理

- 3) 家庭訪問 (見学訪問) /日  
 種類 結核 乳幼児  
 イ) 訪問の計画  
 訪問ケースの選定  
 訪問内容に関する準備  
 医師その他関係機関との連絡  
 訪問カバンの準備  
 ロ) 訪問の実施  
 ハ) 訪問後の整理  
 訪問に関する記録の整理  
 医師、婦長その他関係機関との連絡 (必要時)  
 今後の訪問計画の樹立  
 訪問カバンの整理

4) 地区組織活動及び衛生教育 (適宜)